

コープやまぐち奨励賞

古典芸能南京玉すだれ山口保存会

代表者 勝間 幸次（地域づくり分野／防府市）

活動の動機

日本の伝統芸能である「南京玉すだれ」の楽しさ、おもしろさを子どもから大人の方まで、広く県民の皆さんに知って頂くことと、「南京玉すだれ」の普及と継承を図るため、2006年に「古典芸能南京玉すだれ山口研究会」発足。会員数も10名に増えたので研究会を発展的に解消し、「古典芸能南京玉すだれ山口保存会」を2008年に創立した。

目的

会員が習得した「南京玉すだれ」の芸で、福祉施設等への慰問やいきいきサロン等への参加活動、また地域のイベント、放課後子ども教室等へ参加して、地域社会への貢献活動を行う。

活動の内容

保存会が継承している「仙助流 南京玉すだれ」は、和妻わづまの一種として、文化庁から、社団法人日本奇術協会（現公益社団法人）に対し、記録作成等の措置を講ずべき無形文化財に選定（平成9年）されている。南京玉すだれは「伸ばす、返す、捻る」の三つの動作でいろいろな形を作る「見立て芸」。講習や体験教室を開催しての保存活動や習得した芸を披露している。

①講習会を開催（見学・体験は誰でも自由に参加できるよう日曜日に開催）。

○毎月1回、中級者と初級者を対象にそれぞれ、演技や唄の練習を実施。

○慰問時やイベント参加時に少しでも多くの芸を皆さんに見てもらい、楽しんで頂くために、女性会員の希望で「傘踊り」を2008年から、「ささら踊り」を2009年から継続して練習している。

②福祉施設等の慰問・地域イベント等参加。

○慰問活動は、

デイサービス（はぴね防府、かがやき、防府幸楽苑等）、柚野地区敬老会、右田市上敬老会等。

○地域イベントは

生き生き倶楽部・高齢者教室（富海公民館）、防府天満宮梅まつり、山口大神宮春祭、富海ホテルまつり、柚野ふるさと夏まつり、佐波の里山さずなの森オープニングイベント等。

○子ども育成関連

山口市子ども育成連絡協議会、勝間放課後子ども教室、右田放課後チャレンジ教室等。

③ほうふ幸せます人材バンク「指導者バンク」登録者による自主企画公開講座開催。

④山口市教育支援ネットワーク「やまぐち路傍塾」に新規登録。

これからめざしたいこと

○若い世代に興味を持ってもらうため、親子体験教室の開催や放課後こども教室等にも積極的に参加して、人材発掘に力を入れ後継者の発掘、育成につなげていきたい。

○南京玉すだれを普段直接目にする機会のない、県内の離島や山間僻地の小学校児童等に、日本の伝統芸能を直接見る機会を作って、演技披露、体験を行って楽しんでいただきたい。



きんもくせい
老人ホーム・デイサービス
センタークリスマス会



「NPO法人さわやか
中西」にて ささら踊り